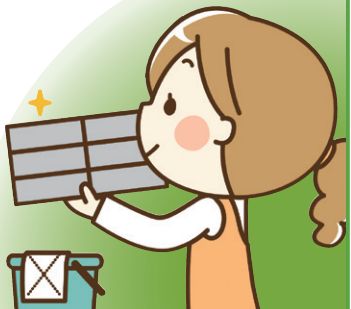


24時間換気システム、 キレイにしていますか？

いまや、快適な暮らしに欠かせない24時間換気システム。家族の健康のために、休みなく動きつづけてくれています。ときどきはチェックして、住まいをずっとさわやかにしていきたいですね。そこで、簡単にできるメンテナンス方法をまとめてみました。



排気口の
掃除も忘れずに。



室内の汚れた空気を外に追い出す排気口は、たいていの場合、天井に設置されています。天井から少し飛び出た排気口を下に引っぱると簡単に外れるようになっています。給気口のとくと同じように、フィルターをやさしく水洗いし、乾かしてください。こちらも、掃除機などでホコリや綿ゴミを取り除いてもいいでしょう。キレイになったら、フィルターを取り付け、排気口を元に戻すだけです。いたって簡単に作業できます。



換気扇も
一時停止で
しっかり洗浄。

24時間換気システムでは、家じゅうの空気が2時間に1回入れ換わるように設定されています。それを正しく機能させている心臓部が、1階のトイレなどに設けられた換気扇です。換気扇の掃除方法は、機種によって異なりますが、いずれもメンテナンスがしやすいように設計されています。

スイッチを切るかプラグを外してファンを停止させ、汚れやホコリを落としましょう。簡単に分解できるタイプの場合は、ファンの羽を取り外し、羽を洗剤を使って洗うことも、本体の汚れをしっかりと拭き取ることも容易にできます。

24時間換気システムは、家族が健康に暮らすうえで、とても大切な設備です。これらについて用事のない休日などには、ぜひ点検してみてくださいいかがでしょうか。



定期的な
メンテナンスで
正しい換気。

冬の寒さが厳しい北海道では、「高気密高断熱」であることが住まいに求められる重要な条件です。同時に、ほぼ密閉された状態の室内の空気をキレイに保つ「換気」がスムーズにおこなえることも、快適な暮らしに欠かせません。

高気密・高断熱が主流となってきた2003年、建築基準法の改正により、新たに建てられる家には24時間換気システムの導入が義務づけられました。24時間換気システムは建材に含まれる化学物質や生活から出るにおい、部屋にもった湿気などを強制的に外へ逃がし、新鮮な外気を取り込むための設備です。これを正しく機能させるには、定期的なメンテナンスを忘れてはいけません。そこで、メンテナンスの基本である、フィルターの清掃から紹介していきます。



給気口の
フィルターを
チェック。

おもに室内の壁に、円形や四角形の給気口が取り付けられています。ここから外の新鮮な空気が取り込まれるのですが、その中にはチリやホコリ、最近話題のPM2.5など、室内に入るとほしくない有害物質が含まれているのが、フィルターです。でも、どんなに高性能のフィルターも、長い間放つておいては効力を維持できません。適切なメンテナンスと交換をおこなえば、かなりの微粒子まで取り除いてくれます。

まず、給気口のカバーを外し、フィルターを取り外します。フィルターの汚れを水道水で流すようにして洗い、日陰で干しましょう。洗う際には、あまり強くこすらないように注意してください。2〜3カ月に一度くらいはチェックする習慣をつけたいものです。汚れがひどくない場合は、掃除機を使ってキレイにしてもいいでしょう。フィルターは、水洗い5〜6回を目安に、新しいものと交換してください。

